

奈良公園の水環境改善の取組みの一環として、  
**猿沢池への導水実証実験を行います！！**

- 奈良公園内の猿沢池や鷺池は、多くの観光客等が訪れる場所ですが、流入水量が少なく滞留時間が長いことや、降雨時に鹿の糞尿混じりの水が流入することにより、夏場を中心に濁りやアオコが発生するなど、水質が悪化しています。
- このため、昨年度に奈良公園の水環境改善計画を立案し、各般の取組みに着手しています。
- 猿沢池では、新しく水路を整備し奈良国立博物館の井戸水を導水することで、水質改善を図る予定です。
- これに先立ち、導水実証実験を9月30日より開始します。

＜導水実証実験の内容＞

- ・ 実証実験を行うため、春日大社一の鳥居付近に仮設ポンプと仮設導水管を設置し、奈良国立博物館の井戸から排出される最大3リットル/秒の水量を猿沢池へ流入させます。
- ・ 水質調査期間は、9月30日から約2ヶ月を予定。
- ・ 猿沢池への流入水の増加量に応じた水質改善状況（窒素やリン等の数値変化、透明度等）を調べ、来年度から予定している本格運用に活かします。